

該当番号	意見の要旨	回答	関連部署	議事録該当箇所
1	35歳の時に町会の役員になったが、残念なことにそれから55歳まで、一番の最年少ということが町会の課題だと思ふ。その後、区の委員など色々やらせていただき、墨田区のことがよくわかり役立っている。やはり人とのつながりを大事にしないといけないことを改めて感じられて良かった。最近はずみだの力応援助成金をいただき、災害対応リヤカー移動図書館を始めた。先日も商店街のイベントに参加し、多くの方に本を借りていただいた。今後もつながりを大事にしていきたい。	【地域活動推進課】 ご指摘のとおり、地域を盛り上げていくには墨田区の強みである人と人とのつながりをさらに育んでいく必要があります。そのためには、地域コミュニティの中心的役割を担う町会・自治会の協力が不可欠です。今後、町会等の大きな課題である役員の高齢化、担い手不足の解決に向け、さらなる加入促進の支援に取り組んでまいります。	地域活動推進課	3ページ 区民A
2	今年度、消防団に入団したが、墨田区は消防団員が少なくどんどん増やさねばと思っている。また、消防団員の定年について、今年4月に70歳から75歳に引き上げたという事で驚いた。墨田区は地盤が低いので水害の心配や、地震も多いので、金銭的・時間的・年齢的な問題は様々あるが、地域の安全・安心のために活動を続けていきたい。	【防災課】 墨田区としても、様々な機会や媒体を活用して、積極的に加入促進の広報活動を消防署と連携して行ってまいります。また、災害に強いまち、住み続けられるまちを目指して、地域防災力の中心である消防団を支援していきたいと考えています。	防災課	4ページ 区民C
3	防火や耐震の面で自分のできる範囲で活動しているが、一番感じたのは墨田区の底力はすごくて様々な支援があること。高齢者支援総合センター、ユートリヤ、区議会議員、教育委員会事務局、生活衛生課、環境保全課、建築指導課、防災まちづくり課など、各所管で問い合わせに真摯に対応していただいたおかげで、自分としては耐火強化ができた。今後は低地ということで水害対策に取り組んでいきたい。	【防災課】 減災、防災に向けて今後も真摯に取り組みを行ってまいります。また、水害時の避難や避難所の運営など地域の力が不可欠な場面が数多くあると考えており、引き続き地域の皆さんと協力し対応していきたいと考えています。  【都市整備課】 大雨及び台風時における家屋等への浸水防止対策として、土のうを必要とする区民及び区内の個人事業者向けに、土のうステーションの利用啓発を行うとともに、臨時配布場所の開設について周知していきます。	防災課 都市整備課	4ページ 区民D
4	長年スポーツボランティアをやっていて、先日久々に総合体育館で全日本ボクシング選手権のボランティアがあった。やはり良いと思う反面、墨田は体育館や競技場が少ないと感じる。このような場所を増やすことで、もっとスポーツに対する醸成ができるのではないかと。	【スポーツ振興課】 「する」を実現できる体育館も少ないですが、「見る・支える」機会を提供できる体育館は1箇所しかありません。スポーツのための環境整備は重要な課題です。利用形態やニーズ調査・検証を行いスポーツ施設全体のあり方として検討したいと考えています。 また、スポーツをささえるボランティアの活動機会については、参加する選手と同様に感動や興奮を共有してもらい、スポーツを通じた生きがいを感じていただけるよう、今後も活動の機会を確保していきたいと考えています。	スポーツ振興課	5ページ 区民G
5	外国人向け日本語学校で介護福祉士の資格を取得した。墨田区の色んな人が支えてくれたから感謝していて恩返ししたいと思っている。区内で活動しているすみだ多文化共生交流会のメンバーでもあり、外国人の声を墨田区につなげたり、日本人の住民と同じように参加や行動ができるように、何とかしていきたい。	【文化芸術振興課】 墨田区には通訳・翻訳ボランティア制度があります。これは多文化共生の推進に関する業務や災害時等において通訳・翻訳できる方の登録制度で、国籍に関わらず語学力がある方であれば誰でも登録できます。提案の一つですが、通訳・翻訳ボランティア登録をとおして、多文化共生推進の一翼を担っていただけると幸いです。	文化芸術振興課	5ページ 区民H
6	墨田区の「人」マークに非常に誇りを持っている。おそらく他区でも東京都でも日本国内ないと思う。今回コロナで日本・墨田区が分断されたが、この「人」を持ってつながりを進めるのは、ぜひ墨田区がファーストランナーとなって頑張ってもらいたい。	【広報広聴担当】 今年度、シティプロモーションのロゴマークである「人」マークを、「人と人とのつながり」をこれからも一層深めて、より大切にしていきたいという想いを込めて、「ひと」という言葉を加えたデザインにブラッシュアップしました。 これまでのコロナ対応において、本区は「人」のつながりを大切に「地域力」で取り組んできました。そうした本区の取り組みに対しては、多くのメディアから取材をいただき、区民の方等からも好意的な声を多数いただきました。今後も、様々な分野において「人と人とのつながり」を大切にしながら、区政運営を展開していきます。	広報広聴担当	4ページ 区民I

7	<p>以前から墨田区に対し情報のユニバーサルデザインを提唱しているがなかなか普及しない。高齢者、障害を持っている方、外国の方、子どもに1つの情報媒体で伝わるという考え方を提唱している。今年、障害者差別解消法が改正され、行政も民間も義務化されたので、区の職員も一般の方もユニバーサルデザインの考え方を勉強できる講習会等をやっていただければ、多様な文化の方にも情報が伝わる区になると思う。</p>	<p>【障害者福祉課】 障害者福祉課では、リーフレットや冊子等に音声コードを導入しています。併せて、ユニバーサルデザインに関する啓発の取組を進めてまいります。</p> <p>【職員課】 職員向けの研修につきまして、現在、外国の方や子どもにも伝わりやすい情報発信の仕方として「やさしい日本語」研修を実施しております。今後ともいかなる受信者に対しても情報を伝えることのできるよう人材育成に努めてまいります。</p>	<p>障害者福祉課 職員課</p>	<p>5ページ 区民J</p>
8	<p>私の自治会では、高齢化がすごく進んでいて平均年齢70歳となっている。毎年同じような活動をしていたところ、高齢化対策が遅れてしまい、不安やどうにかしなければという思いだけが溜まっていた。このままではどうしようもないと会長に立候補して行動を起こしてみると、とても色々な事ができた。聞く耳を持つ、動く、発言する、そうすると色々な所（外部団体、連合町会、社協、消防警察）から声がかかるので、それに対してまた行動すれば良いと思う。</p>	<p>【地域活動推進課】 各町会・自治会において、役員の高齢化、担い手不足の問題が指摘される中、高い当事者意識をもって自治会長として地域の発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。こうした行動力、発信力がこれからの地域を支えていく原動力になるものと考えています。今後の地域活性施策の貴重な事例として参考にさせていただきます。</p>	<p>地域活動推進課</p>	<p>6ページ 区民K</p>
9	<p>全日本ボクシング選手権大会のおもてなしサポーターとして従事した。今回は無観客だったため運営はサポーターだけで間に合ったが、今後有観客となると人数が不足する。また、今回大会を行っていることがほとんど知られていなかったもので、ちゃんと広く知らせたり、隣接の錦糸公園で例えば町会がテントを出して催し物をしたり、墨田の工芸品を紹介するなどして、スポーツをきっかけに色々な形につながる方法があると思ったので提案したい。</p>	<p>【スポーツ振興課】 今後、スポーツイベントが有観客で実施される場合には、円滑に運営できるよう十分に関係者と協議するとともに、区の広報紙やSNS等を活用し積極的にPRを行います。また、関係部署とも情報共有し、区内外からの来場者に対して本区の紹介を行うなど、スポーツを通じた繋がりができるよう検討していきます。</p>	<p>スポーツ振興課</p>	<p>7ページ 区民M</p>
10	<p>区内外で活動する紙芝居屋。コロナ禍で分断が続いたので、今後はポストコロナで感染予防をしながらもやっぱりつなげていく紙芝居をしたい。紙芝居は言葉の壁も越えるので、世界中の人、子どもも大人もみんなひっくるめてコミュニケーションをとりながらつながれる場だと思う。小学校の放課後支援事業で子供たちと紙芝居を作るワークショップもやっていて、今まではいただく話に応えるばかりだったが、これからは自分でもっと発信して、子どもたちが安心して自分を出せる場を提供したいと思う。</p>	<p>【地域教育支援課】 放課後子ども教室の紙芝居ワークショップは毎回多くの子どもが参加している体験活動です。現在は1校のみでの実施にとどまっていますが、活動の充実化にもつながるため、他校の放課後子ども教室にも事例紹介していくこと等、検討してまいります。</p>	<p>地域教育支援課</p>	<p>7ページ 区民N</p>
11	<p>(iUの学生) 大学としても墨田区の皆さんや行政とのつながりがまだ薄いところがあるので、地域とのつながりを大事にした学園祭というのを運営してみたい。</p>	<p>【行政経営担当】 昨年11月に開催された「iU Fes 2021」では、大学近くの商店街や店舗と連携した「リアスゴ！」というイベントが企画され、地域と学生がつながるきっかけづくりになったと認識しています。 今後、様々な分野において地域とのつながりを生み出していけるよう行政も積極的にサポートし、活気あふれる「大学のあるまち すみだ」を目指していきます。</p>	<p>行政経営担当</p>	<p>8ページ 区民O</p>
12	<p>お片付けを通じて生活の安心・安全時間づくりを提案しようとして今年起業した。①お片付けを通じて高齢者の一人暮らしの方をターゲットとした減災・見守り、②お片付けを通じて子供たちが夢に向かって準備する習慣づくりを提案したい。①の減災・見守りについては、区のふるさと納税にこのサービスを追加していただき、みなさんに安心・安全で住みやすいまちのすみだを提案したいと思う。</p>	<p>【高齢者福祉課】 ひとり暮らしなどの高齢者等が安心して暮らし続けられるよう、地域住民のほか、企業・商店などとも連携し、多様な主体で緩やかな見守りができるよう、ネットワークづくりを行っています。区内で活動する多くの企業・団体・商店等に、日々の業務を通じて高齢者等の異変の気づきを知らせるなどして活躍する「高齢者見守りネットワーク事業協力機関」として登録していただき連携を進められるよう働きかけを行っています。</p> <p>【文化芸術振興課・地域活動推進課】 総務省の定める返礼品の基準及び他自治体の状況等も勘案し、関係部署とも協議して検討したいと考えています。</p>	<p>高齢者福祉課 文化芸術振興課 地域活動推進課</p>	<p>8ページ 区民P</p>

13	先日コロナ禍で生活に困っている外国人の方から、相談先がわからなかったり、うまく日本語で説明できないとの相談を受けた。単なる通訳だけでなく、困りごとの相談にも対応することができるように、区内在住で地域活動をしたという外国人のネットワークを作っていきたいと思っている。墨田区は現在13000人の外国人がいるが、横のつながりがなく、頼る人がいない外国人が多いのではないかと思うので、それを解決していくのが今後の課題と思っている。	【文化芸術振興課】 区内には7つの日本語ボランティア教室があり、単に日本語を学習するだけでなく、日本人と外国人、また外国人同士がつながる場所となっています。 この様な場である日本語ボランティア教室の支援を引き続き行うと共に、外国人対象の事業など、外国人同士が横でつながることができるための仕組みを今後も検討していきます。	文化芸術振興課	8ページ 区民Q
14	最近感じているのは選挙の投票率が低いこと。最近インスタグラムを始めて、台東区では選挙の投票証明で各商店などのサービスを受けられると目にして、同じことを単独で初めてやってみたら7名の方からご参加いただいた。そのような投票率がアップするような仕組みを墨田区でもやると面白いと思う。	【選挙管理委員会事務局】 本区においても従来から投票済み証明の交付を実施しています。先の衆議院議員選挙では、区内店舗で同様のキャンペーンが行われていたことを受け、期日前投票所及び当日投票所で相当数の選挙人から投票済み証明の請求がありました。 ご提案の内容については、商店等の営業活動の一環であることから選挙管理委員会事務局として積極的に関与したいものの、投票率の向上に資する取組みについて、今後も様々な事例を参考に検討していきます。	選挙管理委員会事務局	9ページ 区民S
<b>事前アンケートの回答から抜粋</b>				
①	コロナ禍で、町会の活動やスポーツ推進委員としての活動が制限が続いており、Withコロナの活動をどうするか課題。	【スポーツ振興課】 スポーツ推進委員が行っている事業については、スポーツ庁が示す新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等を踏まえ、事業参加者及び運営者の安全面を確保した上で、活動可能な事業について実施していきます。	スポーツ振興課	—
②	最近引っ越して来た方の永住意識、地域活動意識が低いことが課題だと思う。住宅と店舗の一体型住民が多かったが、昔の住民が土地を手放し、マンションが多くなった。	【地域活動推進課】 ご指摘のとおり、近年、生活の多様化によりワンルームマンションなどが増え、地域のつながりの希薄化が懸念されています。永住意識の向上、地域活動への参加促進にあたっては、区民の皆様にすみだの魅力を発信し、地域に愛着を持っていただくことが重要と考えています。今後、町会・自治会とも連携しながら地域の進展に務めてまいります。	地域活動推進課	—
③	コロナ渦での高齢者同士のデジタル連絡が課題。	【高齢者福祉課】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会全体のデジタル化が加速する中、高齢者もデジタル機器・サービスを活用できるよう、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を進めることが重要です。区では令和3年度から高齢者を対象としたスマートフォン教室を開催しています。今後もすべての高齢者がデジタルの活用・連絡ができるよう支援していきます。	高齢者福祉課	—